

ユネスコスクールの取り組み

羅臼町立羅臼幼稚園 畑中 稔
 担当者 澤田 幸枝

【本園のユネスコスクールの特徴】

日常生活や遊びを通して、幼児が地域の自然環境と触れ合い、地域の自然に親しむ。また、地域で暮らす様々な人との交流を通して、社会性を身に付け、地域社会との結びつきを強める体験をする。これらの活動を通して、幼児に知床の自然の豊かさを体感させ、「豊かな感性」と「たくましさ」を身につけさせるための基礎作りをする。

【ねらい】

- ・自然に触れ合う事を通して、精緻さや美しさ、力強さを感じ取り、大切に作る心を育てる。
- ・身近な動植物に関心を持ち、生命の尊さに気づき、自然を大切に作る心を育てる。
- ・地域の人々と交流し心を通わせ、地域の産業や自然について理解した豊かで、奥深い人間性を育てる。
- ・ふるさとの自然や社会のすばらしさを知り愛する心を育てる。

	4月～5月	6月～7月	8月～10月	11月～12月	1月～3月	探求活動
ちゅうりっぷ (年少組)	・園庭、園周辺の散歩(草花、虫など)	・自然の草花で遊ぼう	・海で遊ぼう (川、植物など) ・知床の秋、紅葉を知ろう ・落ち葉などで遊ぼう	・足跡を探そう	・冬の山で遊ぼう ・雪や氷で遊ぼう ・白鳥を見に行こう	・園庭遊び ・散歩 ・遠足 ・地域交流
ひまわり たんぼぼ (年中組)	・春の生き物探し(草花、野鳥など) ・生き物を飼ってみよう	・食べられる野山の草(フキ、ヨモギなど)	・海で遊ぼう (生き物、植物など) ・知床の秋に紅葉に気づく ・落ち葉や木々などを使って遊ぼう	・秋の生き物を探そう	・冬の山で遊ぼう ・雪や氷で遊ぼう ・冬の動物、鳥(おじろわし、おおわし、しかなど)	・園庭遊び ・散歩 ・遠足 ・地域交流 ・市場見学
すみれ (年長組)	・春の生き物探し(草花、虫、野鳥、動物など) ・食べられる野草の草(ヨモギ/フキ/コゴミ/ワラビなど)	・食べられる野菜で料理を作ろう(ヨモギ、フキ) ・野菜を育てよう	・海で遊ぼう (生き物探し) ・知床の生き物について教えてもらおう(郷土資料館、ビジターセンター) ・秋の紅葉、生き物などを観察しよう	・漬け物を作ってみよう ・畑でとれた野菜で料理を作ろう ・クマ学習	・冬の山、雪、氷を使って遊ぼう ・冬の動物、鳥(おじろわし、おおわし、しか、白鳥など)	・園庭遊び ・散歩 ・遠足 ・地域交流 ・市場見学 ・植物栽培、収穫 ・漬物作り
施設 学習		・展望台	・7/4 郷土資料館 ・8/26 魚市場 ・9/17 農林漁業		・2/14 ビジターセンター	

実践例 海で遊ぼう！（7月）

お弁当や着替えをリュックに入れ、全学年揃ってバスで峰浜の海へ行き、園外保育を実施しました。普段は、園庭で遊んだり、園周辺へお散歩に行ったりして過ごしています。海へ行って活動する機会はない子ども達の目は輝いていました。海は遊び場というより仕事場のイメージがある様で、初めて海に入る幼児も多くいました。最初は怖がっている幼児もいましたが、友達や先生と手を繋いで、海の中に入ったり、砂でお城を作ったり、羅臼の海を思いっきり楽しむことができました。



実践例 幌萌体験実習館（7月）

地域の施設や自然環境に興味、関心を広げようと、町内にある幌萌の体験実習館に行きました。幼稚園から少し離れているということもあり、普段はなかなか利用できない施設ですが、子ども達はその中で自然を感じ、思いきり体を動かすことができる活動となっています。

笹船を作って流したり、「これは何だろう？」と手に取って見たり、毛虫を見て驚きを隠せない幼児など、幼児の表情からも充実感を感じることができました。

来年度も、施設に出向き色々な体験ができれば良いと思います。



市場見学



クマ学習



更生保護女性会との交流（チャンチャン焼き）



畑で採れたジャガイモを使ってカレーライスを作りました

【成果】色々な行事を経験することで、自分たちの住んでいる地域の海や山の生き物や植物、虫のを知ることができ、季節の変化や命の大切さも知ることができた。

【課題】地域のことをもっと知ってもらうために、色々な所に足を運び、目で見たり、手で触れたり体感をたくさんさせる経験をさせていかなければならない。